

事業所における児童発達支援の自己評価結果(公表)

公表:令和6年4月25日

事業所名 個別療育センターコスモマイル本部

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。(保護者評価項目1)	100%	0%	職員も心がけて環境整備・体制整備に努めました。配置数につきましては不安定になる状況もあり、職員の相互扶助で乗り切ってきました。常勤職員に加え、非常勤職員も増えたため、情報共有に工夫をしながら、職員も不安にならないように助け合って職務に励んできました。利用者様が増え、職員も増えることで、物品管理や教材の整理整頓など、共有部分の整理整頓が追い付かない部分も時によりありました。利用者様にご不便をおかけすることの無いように、また職員同士も戸惑うことの無いように、皆で心がけて整えていきます。	
	2	職員の配置数は適切であるか。(保護者評価項目2)	83%	17%		
	3	事業所は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか(保護者評価項目3)	100%	0%		
	4	事業所は、清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。(保護者評価項目4)	83%	17%		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	上記にもあるように、事業改善には職員一同で取り組んでまいりました。職員が増えたことで利用者様の情報の共有、個人情報の扱いへの注意、書類や教材の整理整頓が業務改善につながるということが共通認識となり、皆でより一層心掛けるようになりました。職員皆がそのように受け止めていることは、当事業所にとっての強みであると思います。今後も職員一同で力を合わせて業務改善を進めていきます。事業所評価につきまして、職員一同で意見交換をしながら話し合い、その結果を外部評価にてご指導いただいております。今年度から大阪母子医療センター子どものこころの診療科副部長平山哲医師に外部評価をご快諾いただきました。当事業所につきましてご指導をいただきながら、より良い療育、より良い事業所運営を目指していきます。職員の資質向上のための研修については、アセスメントの研修や支援技法の研修など、研修を受ける機会があること、実践をする機会があることが当事業所の良さの一つであり、職員からも喜ばれています。より利用者様に還元できるように心がけていきます。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	100%	0%		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善内容を事業所の会報やホームページ等で公開しているか(予定はあるか)。	100%	0%		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか(予定はあるか)。	100%	0%		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	100%	0%		
	10	職員は子どもの支援について意義を感じ工夫し楽しむことができているか。(保護者評価項目16)	100%	0%		
適切な支援の提供	11	アセスメントに基づき、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画書を作成しているか。(保護者評価項目5)	100%	0%	個別支援計画書をもとにお子様一人ひとりを理解しよりよい支援を考えるため、職員全体で意見交換をしています。長期目標と短期目標のつながり、目標に対する支援方法の検討、今後の方向性など、複数の職員で考えて意見交換することで視野が広がり、実施のイメージが湧きやすくなっています。実施記録につきましても、利用者様にお渡しする前に職員で毎月ペアを変えながら読み合っています。読み合いをすることで、自分にはなかった視点に気づいたり、新しい活動や教材を知ったりすることができると、職員も効果を実感しています。モニタリングを定期的に行うことで保護者やお子様の意見をうかがうことができ、より良い見直しにつながっています。個別支援計画も半年に一回以上更新をすることで進捗状況がつかみやすく、支援を具体的に進めていくことができるので、職員にとって良い習慣になっています。連携を希望される方は職員にお伝えいただければ、積極的に取り組ませていただいております。	
	12	個別支援計画書にはガイドライン総則の基本活動や「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示された内容から必要項目が適切に選択され、そのうえで具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		
	13	個別支援計画書に沿った支援を行っているか。(保護者評価項目6)	100%	0%		
	14	支援内容を職員間で検討し、子どもの発達や課題の進捗状況、その時の状態等に応じて固定化しないよう工夫しているか。(保護者評価項目7)	100%	0%		
	15	職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	83%	17%		
	16	朝礼や終礼などで支援の振り返りを行い、気付いた点等を職員間で共有しているか。	100%	0%		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%		
	18	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画書の見直しの必要性を判断しているか。	100%	0%		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議等にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	100%	0%		
	20	園や学校などの関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	100%	0%		
	21	移行支援として、必要に応じて保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所、学校、特別支援学校等との間で、支援内容の情報共有と相互理解を図っているか。	83%	17%		
	22	必要に応じて、学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	83%	17%		
	23	必要に応じて、他の児童発達支援センター、児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	83%	17%		
	24	電話対応、見学対応、契約対応等で、保護者に丁寧な説明ができていますか。(保護者評価項目8)	100%	0%		
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。(保護者評価項目9)	100%	0%		
	26	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援を行っているか。	100%	0%		
	27	個別支援計画書を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画書の同意を得ているか。(保護者評価項目10)	100%	0%		
	28	契約時、変更時には運営規定の内容や利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		
	29	保護者の苦情、相談や要望に対して適切な面談や助言等の支援を行っているか。(保護者評価項目11)	100%	0%		
	30	子育て通信などの会報を発行する等して、支援に関する情報を子どもや保護者に対して発信しているか。(保護者評価項目13)	100%	0%		
	31	個人情報の取り扱いに十分注意しているか。(保護者評価項目14)	100%	0%		
32	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。(保護者評価項目12)	100%	0%			
33	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。(保護者評価項目15)	100%	0%			
保護者への説明責任等	34	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		
	35	事前に服薬やアレルギー、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%		
	36	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%		
	37	必要に応じて、どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画書に記載しているか。	100%	0%		
	38	ヒヤリハット事例を記録して事業所内で共有しているか。	100%	0%		

相談支援事業所のサービス担当者会議には、担当と児童発達支援管理責任者で参加しています。2名が参加することで事業所としての対応についてご説明したり、担当としてお子様の様子などを具体的にお伝えしたりすることができ、関係諸機関でのご様子などもおうちがいて共有することができます。保護者の仲立ちで園や学校との連携も行っています。お子様が毎日園や学校でどのように過ごしているのか、環境を実際に見ながら接している先生方のお話を伺うことは大変参考になり、ありがとうございます。当所からも個別療育で何に取り組んでいるかをお話することで、双方の役割分担をしたり、お互いの支援に役に立てたりすることができています。複数回訪問した機関では支援経過を目にするでもでき、年度替わりには引継ぎもさせていただくなど、継続的な支援ができることもありがたいです。自分たちが目にしているお子様の姿だけではなく、当所以外でのお子様の様子を知ること、日常的な視点も含めた支援検討ができることは有意義なことだと考えています。

大学進学をしたり社会に巣立ったりするお子様についても、今後起こりうる状況をご本人と一緒に考え、卒業までの間に何を学びたいかをご本人と決めて活動に取り組んでいます。

避難訓練につきましては、個別療育なので避難時に来所されている方が対象になりますが、火災避難訓練、地震避難訓練を行っています。避難経路の確認、発災時の対応につきましては全職員で毎年確認して研修をしております。訓練時の様子を写真などで利用者様全員に見ていただけるよう、掲示等で工夫したいと考えております。

契約時にアセスメント票を保護者にご記入いただき、年度更新で見直しをさせていただいてお子様の情報には漏れの無いようにしております。

虐待防止や身体拘束等の適正化のための研修も職員全員対象に行っており、職員一同意識して取り組んでおります。軽微なものからヒヤリハットも共有しております。